

令和2年2月18日

### 3市共同可燃ごみ処理施設の見学・研修について（要望）

3市ごみ減量推進市民会議  
情報発信・環境学習グループ

3市共同可燃ごみ処理施設の見学・研修体制については、3市市民に親しまれ、利用しやすい、開かれた施設として、可燃ごみ処理だけでなく廃棄物全般の処理状況及び環境に関する情報を分かりやすく提供していただくため、次の事項を要望します。

なお、新施設の本格稼働後も3市市民会議や市民団体などと連携しながら柔軟に対応していただき、より良い施設に進化させていただくようお願いいたします。

#### 1. 掲示・展示物等

- ① 新施設が建設されるまでの経緯（できれば最初の焼却炉建設からの歴史も含めて）と地元の皆様への感謝のパネルを掲示する。
- ② 3市のごみ処理の流れを図解したパネルを掲示する。  
（可燃ごみだけでなく廃棄物全体の流れを表示。3市の特徴も分かるように掲示する。）
- ③ 毎月の3市及び合計の可燃ごみ処理実績をグラフ化して掲示する。
- ④ 可燃ごみに混入していた現物を展示し、注意を喚起する。
- ⑤ ニツ塚最終処分場の役割と処理状況をパネルで紹介し、日の出町への感謝の気持ちも表明する。
- ⑥ 最終処分場紹介パネルの前にエコセメントの現物（ビンに入ったもの）及びエコセント製品（マークの入った椅子など数点）を展示する。（子どもたちが触れられるようにする。）
- ⑦ 世界的な環境問題の紹介（VTRでもOK）
  - ・食品ロスのパネルの掲示（食品ロスの現状と対策等）
  - ・プラスチックごみのパネルの掲示（海洋プラスチックの現状と対策等）
  - ・SDGs（持続可能な開発目標）の説明パネルの掲示。
- ⑧ 図書コーナーの設置  
関連書籍、多摩地域・3市統計資料、浅川清流環境組合ニュース、3市ごみ情報紙等を陳列する。
- ⑨ 3市が行っている環境イベント（なかよし市民まつり、産業まつり、環境まつり）の写真を掲示する。
- ⑩ 各市で行っている小学生の環境ポスターの優秀作品を掲示する。

- ⑪ 各市のごみ減量・資源化活動の紹介パネルを掲示する。  
(例：せせらぎ農園)

## 2. 見学者対応

### (1) 小学生団体

小学4年生は、「私たちのくらしとごみ」の授業を年間10数時間行い、授業の一環として焼却施設を見学する。受け入れ側も、予め見学・研修カリキュラムを確立しておく必要がある。

見学の時期が集中することが考えられるので、事前に各学校に施設見学の実施内容を案内し、日程調整等がスムーズに行えるように配慮する。

- ① 説明用の分かりやすい子ども向け小冊子（リーフレット）を作成する。小冊子には、家庭から出たごみが最終処分（エコセメント製造）までの流れを分かりやすく書く。（児童は最終処分場の見学が難しいので、新施設見学の際、最終処理までキチンと説明することが必要）
- ② 見学では、可燃ごみに混入していた物やエコセメントで出来た製品なども見せる。
- ③ 可燃ごみ以外の処理についても、各市の処理方法に合わせて説明し、正しい分別と3Rの実行を指導する。（小冊子に3Rの説明を載せても良い）

### (2) 一般団体・個人

- ① 一般団体の研修・見学カリキュラムを確立する。
- ② 説明書（個人見学と共通）は英語版も作成する。
- ③ 6階の入口に「受付」を設け、個人見学者の受付を行う。併せて、見学者の質問にも答える。
- ④ オープン後一定期間、簡単な「見学者アンケート」を実施し、改善策の材料にしたらどうか。（見学の動機、見学の感想、要望事項等）

以上